

2019年8月吉日

会員の皆様へ

一般社団法人愛知県医療ソーシャルワーカー協会  
会長 小林 哲朗（公印略）

**グローバル研修** 研修会の開催について（ご案内）

拝 啓

時下、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

さて、このたび、下記の要項で研修会を開催いたしますので、御参加くださいますようお願い申し上げます。

敬 具

記

**専 門 研 修 ㊿**

■テーマ：脳卒中の両立支援におけるソーシャルワーカーの役割

■講 師：大塚 文先生（広島文化学園大学）

■日 時：2019年11月30日（土）13:30～16:30

◇認定医療社会福祉士ポイント：4ポイント（予定）

■会 場：日本福祉大学 名古屋キャンパス 南館4階401教室  
（名古屋市中区千代田5-22-35）

\*会場までのアクセスはホームページ等をご参照ください

■対 象：現職者

■事前・事後課題：あり

■定 員：50名（先着順）※会員を優先して早めの申込開始としています。

■参加費：会 員 3,300円 非会員 4,400円

■申 込：協会ホームページよりお申込ください

申込開始 会員：9月2日（月）～ 非会員：9月17日（火）～

■締 切：2019年11月9日（土）※定員に達し次第締め切ります

■問合先：半田中央病院（若月） ☎0569-20-2208（直）

■本研修の紹介

厚生労働省は2016年2月に『治療と職業生活の両立支援のためのガイドライン』を公表しました。現在、労働者健康安全機構が中心となり全国各地で医療ソーシャルワーカー等を対象として「両立支援コーディネーター基礎研修」が開催されています。

それまで健康だった人が罹患すると、以前の通りには働けなくなるケースが出てきます。病気になるっても働き続けられる、復職できる、社会の一員としての役割が持てることを目標にしている患者さんとその家族に対し、わたしたちソーシャルワーカーは医療的・社会的・経済的・心理的支援を提供しつつ、職場や関係機関とも連携を図っていく役割を担っています。

本研修では全国で活躍している講師をお招きし、両立支援の概要やグループワーク・ディスカッションをおこなう予定です。受講者のみなさまが次の日からの実践のヒントが得られる研修にしたいと思います。



■講師の略歴紹介■ 大塚 文 先生

広島文化学園大学看護学部看護学科教授

労働者健康安全機構両立支援コーディネーター研修講師

公益社団法人日本医療社会福祉協会研修統括部理事 他

【職歴】昭和55年4月黒崎クリニック（現はまゆう会 新王子病院）にMSWとして入職

昭和56年11月同クリニック退職

昭和56年12月労働福祉事業団（現労働者健康安全機構）九州労災病院にMSWとして入職

平成28年3月 同病院退職

平成28年4月 広島文化学園大学看護学部看護学科教授として入職

【資格】昭和55年保育士 平成12年介護支援専門員 平成13年精神保健福祉士

平成20年社会福祉士 平成29年認定医療社会福祉士 平成31年 認定社会福祉士

■専門研修委員会からのメッセージ

愛知県協会の専門研修としては初の取り組みとなります。講師の大塚先生は長らくMSWとしての実践経験を経て現在は教授として、また職能団体の講師や理事としてソーシャルワーカーの養成に携わっておられます。

脳卒中における両立支援の対象は患者さんや家族に留まらず企業や行政機関にも及びます。アプローチ方法も様々であり、日々苦悩しながら実践されている方もいらっしゃるのではないのでしょうか。受講者同士、交流できる時間も設けて実践事例を共有し、各機関において取り組んでいけることを見いだせる研修となる企画です。多くの申し込み、お待ちしております。

■一般社団法人愛知県医療ソーシャルワーカー協会 専門研修委員会■

J A 愛知厚生連 安城更生病院 前田美都里

J A 愛知厚生連 海南病院 嶋田 和寛

J A 愛知厚生連 江南厚生病院 野田 智子

西山クリニック・日本福祉大学 山口 みほ

豊橋市民病院 早川 裕子

半田中央病院 若月 亮